

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(有)まはえ	代表者	横山源太	法人・事業所の特徴	サービス付き高齢者向け住宅の中に小規模多機能型居宅介護と、訪問介護事業所を併設しており、ご利用者様の状態に合わせてサービス内容を選択することができる。				
事業所名	まはえ瀬名花壇	管理者	森竹典子						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	2人	1人	1人	0人	5人	0人	12人

項目	前回R 4.3月の改善計画	前回R 4.3月の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回R 5.3月の改善計画
A. 事業所自己評の確認	・S型デイとの関わりを持ち情報を共有する	・S型デイに2回のみの関わりであった	・上手に時間を使って計画に取り組んでほしい	・地域との関わりの重要性を職員が理解し実行する
B. 事業所のしつらえ・環境	・食事等も含めた見学会を開催しより理解を深めて頂く	・コロナ禍において開催する事が出来なかった	・3F 早朝談話室の窓は開いている	・気持ちよく利用して頂けるよう施設内外の衛生面に気を配る
C. 事業所と地域のかかわり	・花を育てるこことによりほんの少し交流の場を作る	・花を育てることに、力を入れたが地域の方々の交流の場となるまでには至らなかった	・特に高齢者の友人達が非常に興味を持たれている ・知人から花壇に置かれた小鉢の花が綺麗だと言われた	・施設の花壇を地域の方々に楽しんで頂き交流の場となるよう手入れを行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・これまでの経験をもとに積極的に外出の機会を増やし刺激を得る	・コロナ禍において、職員不足もあり外出の機会を増やすことが出来なかつた	・難しい事もあるだろうが、地域の行事に参加してほしい	・地域の商店、公園等に出かけ多くの方とコミュニケーションを図る
E. 運営推進会議を活かした取組み	・報告だけでなく意見交換の機会にしていく	・参加者からの意見を伺うことができた	・コロナ禍で行われない月もあったが、内容はまとまっていると思う	・限られた時間ではあるが、参加者からの意見、地域の情報を聞くようにする
F. 事業所の防災・災害対策	・自治会の皆様にも積極的に参加してもらう ・訓練にしていく	・コロナ禍において、参加への促しが出来なかつた	・夜間帯やはり各々が常に心にしておくことだと思う	・災害時、地域の方々の避難所となるよう周知、準備を行う